

清水東高等学校

# 同窓会々々報

平成元年1月20日  
臨時増刊号  
(関東地区版)  
清水東高等学校同窓会  
〒424 清水市秋吉町5-10

## 関東地区同窓会

### 第二回総会の開催案内

本校卒業生約一万七千余名のうち、約七千名が関東地区に在住していますが、念願の清水東高関東地区同窓会が、前校長西ヶ谷免志雄先生他関係者の努力で一昨年末発足し、昨年二月十九日(金)都ホテル東京にて第一回総会を開催し、同窓生約三百余名の参加を得て盛大に行なわれました。

今年も別項の要領にて、同会場で第二回総会を開催します。

一般の祝辞依頼者として、昨年の第一回総会は、恩師の有原耕先生の他、経済評論家として日本でも五指に数えられる竹内宏氏(旧二十一回生)、エッセイストとして著名な江国滋氏(新五回生)、東大のロシヤ史の教授でマスコミにもしばしば登場する和田春樹氏(新八回生)の四氏にお願いしましたが、第二回総会は、講師の六代目宝井馬琴師匠(新六回生)、サッカー界の大御所・杉山隆一氏(ヤマハ発動機・新十三回生)、野球の鈴木惠夫氏(日ハムコーチ・新十一回生)、野球解説者の山下大輔氏(元大洋ホエール

ズ・新二十二回生)の他、経済界を代表して日立精機・社長の手島五郎氏(旧二十回生)の祝辞を予定しています。総会出席希望者は、申込期日までに、別添の各回期の代表幹事宛に申し込んで下さい。

尚、幹事の決っていない回期及び関東地区以外の同窓生は、母校同窓会事務局(岩崎忠能教諭)宛とします。

特に、前回の総会に参加できなかった方は、恩師や先輩・後輩及び同期生との旧交を暖める良い機会です。奮ってご参加下さい。



都ホテル東京・醍醐の間



清水東高等学校

## 第二回総会の参加者募集要領

- 一、期日 平成元年四月二十一日(金) 十八時
  - 二、場所 都ホテル東京(醍醐の間)  
東京都港区白金台一丁目一五〇  
TEL 〇三(四七)七三二一(一代)
  - 三、会費 一〇,〇〇〇円(当日徴収)
  - 四、申込締切日 同年三月三十一日(金)
  - 五、申込先 別添各回期の幹事  
及び母校同窓会事務局
  - 六、その他 会費は、他に年会費として、当日受付にて一,〇〇〇円申し受けます。
- 尚、当日参加できない方は、第一勧業銀行御徒町支店普通預金No〇九一―二六九六五一(清水東高関東地区同窓会)宛所属回期・氏名を明記のうえ

## 学校だより

お振り込み下さい。  
(参考) 母校同窓会事務局  
〒424 清水市秋吉町五番十号  
TEL 〇五四三一六六七〇三〇

○母校校長として、本会の開催にご尽力いただいた西ヶ谷先生が昨春ご勇退。新たに庄田武先生(前県教委総務課長)が着任なさった。高いご見識と誠実なお人柄で、学内外からの信望の厚い方である。母校の益々の発展にお力をいただけることは、喜ばしい限りである。

○本年度のサッカー選手権は、宿敵清商の全国制覇のニュースであったが、母校サッカー部も県大会決勝で惜敗した悔しさを糧として、膳亀監督以下ニュースタッフで猛練習に励んでいる。新人戦ではその成果もあらわれ、今後に期待したい。

○野球も昨秋の選抜大会予選では県のベスト8に進出、こちらも柴田監督以下選手の意気もあがり、久々に甲子園への道をしつかりしたものにしそうである。



全国高校サッカー選手権大会  
静岡県大会決勝戦

# 関東地区同窓会 第一回総会特集

清水東高関東地区同窓会第一回総会は、昨年二月十九日（金）東京・白金台の都ホテル東京・醍醐の間で行なわれた。

参加した同窓生は三百余名、参加者は、会社の社長・役員、学者等文化人、サラリーマンから学生まで二十二歳から七十八歳迄の職業は多士済々。地域も関東一円から清水市まで広範囲に及ぶ。

会場周辺では、何十年振りかで恩師や同級生との再会を懐かしみ、旧交を暖めている光景があちらこちらに見られた。



第1回総会会場・都ホテル東京

シャンソン歌手の田中朗氏（新三回生）がピアノで奏でる校歌を聴きながら、同窓生が入場すると、早速、山本孝氏（新八回生）の司会により、別項式次第で第一回総会の幕が切って落とされた。

先ず来賓として、清水東高校前校長西ヶ谷免志雄先生、母校同窓会会長稲名嘉男氏、関東地区同窓会発起人代表（現関



来賓祝辞・前校長 西ヶ谷免志雄先生

東地区同窓会会長）塚本博氏の順で祝辞を頂戴した後、会則（案）の朗読と拍手による議決、新役員の紹介に引続き、学校長や恩師、母校及び関東地区の同窓会会長により、関東地区同窓会発足を記念して鏡開き式がとり行なわれた。

## 清水東高関東地区同窓会 第一回総会

### 式次第

- 一、開会の辞  
清水東高校長 西ヶ谷免志雄氏  
清水東高同窓会会長 稲名嘉男氏  
清水東高関東支部発起人代表 塚本博氏
  - 一、来賓祝辞
  - 一、会則（案）の朗読及び議決
  - 一、鏡開き式
  - 一、乾杯
  - 一、祝辞  
日本長期信用銀行 竹内宏氏  
専務取締役 江国滋氏  
文筆家 和田春樹氏  
東京大学教授 和田春樹氏  
恩師（清水東高OB） 有原耕先生
  - 一、校歌斉唱
  - 一、閉会の辞
- 以上

旧一回生の岩辺重之助氏（故人）の乾杯の音頭の後、祝宴に入ったが、立食パーティーの会場には、約二十種類の豪華な料理や寿司、そば等の屋台が並んだ。

一般の祝辞は、恩師を代表して有原耕先生（OB）の他、前述の経済評論家竹内宏氏（日本長期信用銀行専務取締役）、エッセイストの江国滋氏（文筆家）、学者の和田春樹氏（東大教授）にお願いしたが、上記三氏は、新聞・テレビ・雑誌等にも登場する全国的な著名人であり、祝電を頂いた宝井馬琴氏（講談師）、杉山隆一氏（サッカー）、鈴木恵夫・山下大輔の各氏（野球）等も含め、今更ながら母校OBの各界での活躍振りや層の広さに感服すると同時に、同窓生の多くは、母校に対して誇りを感じたことであろう。

総会の圧巻は、母校音楽部出身の鈴木実氏（新八回生）の指揮及びシャンソン歌手の田中朗氏のピアノ演奏による校歌斉唱であり、老いも若きも一体となって、校歌に酔いしれている光景は感動的であった。



鏡開き式 同窓会長・恩師の先生等



一般祝辞・経済評論家 竹内 宏氏

その感動の余韻が醒めやらぬ内に、旧一回生の橋馨氏グループ（七十八才）が飛び入りで壇上に立ち、謝意のスピーチをするハプニングがあったが、恐らくOBにとっては、生涯でも忘れられぬ感動的な一日であったことと思われる。

事務局長の木内義一氏（新八回生）の閉会の辞、恩師の立石淳一先生の三三七拍子で、約二時間半の総会は閉幕したが、同窓生一同は、楽しい思い出とともに、来年の総会での再会を約して散会した。

## 編集を終えて



共通一次試験がおわり、三年生は入試に向け追い込み中です。こんな折、関東地区同窓会用の臨時増刊号を、やっと発行することが出来ました。第二回総会が、盛大に行なわれますことをお願いいたします。編集にあたり、木内義一氏および鶴飼教諭のご協力をいただきました。

なお、関東地区同窓会顧問岩辺重之助氏（旧一回）が逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。（岩崎）